

11/21 長年にわたる防火活動に感謝 寺島勉さんが叙勲報告

長 年にわたって消防団活動に尽力した寺島勉さんが、瑞宝単光章（消防功労）を受章しました。

寺島さんは1962年に旧虻田消防団に入団し、2007年には洞爺湖消防団団長、14年には道消防協会胆振地方支部支部長を歴任するなど長年にわたって火災から住民を守りました。下道町長に受章報告した寺島さんは「受章は皆さんのおかげです。体が続く限り町民のために尽くしたいです」と語りました。



叙勲の受章を報告した寺島さん（右から2人目）

11/19 広めよう ふるさとのお米 財田米を町教委に寄贈

財 田米ブランド推進委員会が虻田地区の小中学生に財田米を味わってもらおうと新米60キログラムを寄贈しました。同委員会は財田・川東地区の米農家で構成し、役場で開かれた寄贈式に塩田満会長と渋川賢一教育長などが出席しました。

財田米は虻田地区では給食として使われていないため、塩田会長は「財田米は甘みともちもち感が特徴です。子どもの頃の思い出にしてくれたら」と願っていました。



渋川教育長に財田米を寄贈した塩田会長（右）

11/24 地球温暖化の理解を深める 地球温暖化対策推進セミナー

洞 爺湖文化センターで、公益財団法人北海道環境財団の宇山生朗氏を講師に「脱炭素と地域の豊かさを考える」がテーマの講演が行われました。

約40名が参加し、地球温暖化や脱炭素のデータに他の自治体の事例を交え、脱炭素の取組を学びました。最後に宇山氏が脱炭素への取り組みの心構えとして「誰かがやると過信せず、未来は私たちの行動が形成すると考え行動することが重要です」と伝え、締めくくりました。



脱炭素について学んだ温暖化対策セミナー

11/22~25 友好都市で思い出づくり 町内の児童が三豊市訪問

洞 爺湖町の児童が友好都市の香川県三豊市を訪問する「ふるさと・ふれあい・フレンドリーツアー」が行われました。

6年生の児童13人が訪問し、7月に来町した三豊市の児童10人と再会しました。子どもたちは地元と異なる気候や、三豊市の文化・風土に触れながら、うどん作り体験、みかん狩り、財田小学校の見学などに参加。三豊市の児童とかけがえのない貴重な思い出をつくりました。



みかん畑で記念撮影する児童

11/29 中学生の「税についての作文」
吉田さんが町長賞受賞

国 税庁と全国納税貯蓄組合連合会が共催の、令和6年度中学生の「税についての作文」において、洞爺中学校1年の吉田光希さんが洞爺湖町長賞を受賞しました。

題名は「コストパフォーマンスが良い税金」。分かりやすい言葉を使いながら、納税者にもたらす恩恵の大きさについて述べました。

表彰式には、渋川教育長、室蘭税務署職員らが出席し、表彰状と記念品が手渡されました。



表彰状を受け取る吉田さん (左)

11/26 町の美観向上に尽力
荒井建設に感謝状

町 内で草刈りなどの地域貢献活動を行った荒井建設に、町が感謝状を贈呈しました。

同社は6月と10月、虻田地区の公園と西山火口展望台などで草刈りや側溝の清掃を無償で行いました。

集まった草やごみは軽トラックで各地区で2台分に上り、まちの景観改善が進みました。三國吉典札幌支店長は「町民のために活動できてうれしいです。今後も続けていけたらと思います」と話しました。



感謝状を受け取った三國札幌支店長 (左)

12/4 福祉支援に善意集まる
洞爺湖 LC が寄付

洞 爺ライオンズクラブ(目良浩一会長)が、洞爺湖町社会福祉協議会に現金5万円を寄付しました。

同クラブによる寄付は今回で51回目。社会福祉に役立ててもらおうと会員などから善意を募り、現金のほかタオル21枚、古切手3435枚、リングプル17キログラムを寄贈しました。

目良会長は、町社協の八木橋隆会長に目録を手渡し「今後地域貢献を続けていきたいです」と話しました。



八木橋会長に寄付金を渡した目良会長 (左)

11/29 学ぼう 美しい字
虻田小で書道の学習支援

虻 田小学校(横山慎二校長)で書道の学習支援活動が行われました。

町では、担当教員の補助として学校教育を支援してくれるボランティアを募っており、昨年11月時点では37人が活動しています。この日は、町内で習字教室を開いている阿部あつ子さんが3年生に美しい字の書き方を教えました。阿部さんは、筆の運び方などをていねいに説明し、児童は真剣な表情で半紙に向き合っていました。



児童に字の書き方を説明する阿部さん